羊齒類ノGametophyte ニ關スル研究 (其二十八) うらぼし科羊齒ノ原葉體ノ分類學的意義ニ就テ(續キ)

百 瀨 靜 雄

S. Momose: Studies on the Gametophyte of Ferns (XXVIII).

On the Systematic Criteria of the Prothallium of
Polypods Ferns.

III. 結 論

前項=於テ記述シタ如キ原薬體ヲ構成スル各々ノ要素ノ形狀、性質或ハソレガ原薬體上=如何= 現レテ居ルカ 又ハソレガ如何=組合サツテ 居ルカト云フコトヲ見ルコト=ヨツテ、或ハ又斯ル形態ノ發達ノ過程ヲ追跡スルコト=ヨツテ・歯類ノ原薬體ハ分類學上節 Section 或ハ時=ハ種類マデモ相當明確=區別スルコトガ出來、一方又此等種類或ハ群ノ相互關係ヲモ求メルコトガ出來ル。斯クシテ原薬體ノ特徴=ヨツテモ 又 造胞體ト同様=羊歯類ヲ類別シ或ハ體系化スルコトガ出來 又斯クスルコト=ヨリ從來行ハレ來ツタ羊齒類ノ分類系=對シ相當重大ナル變更ガ豫想サレ 又 造胞體ノ特徴ヲモ 考慮=入レテ變更ヲ加へネバナラヌデハナイカト思ハレル點モ多イ。

私ガ第一報乃至第二十二報ニ於テ報告セル 30 屬 89 種ハソコニ記載及ど批 判セルソノ原葉體ノ特徴カラ次ノ如ク分類サレル。

第一群 とらのをしだ亞科 Asplenioideae.

本群へ C. CHRISTENSEN 氏 / Subfam. X. Asplenioideae—Asplenieae C. CHRISTENSEN in VERDOORN, Manual of Pteridology p. 541 (1938) =相當シ、Neottopteris J. Smith, Asplenium L., Tarachia Presl, Phyllitis Ludwig, Camptosorus Link, Ceterach Garsault 等ノ諸屬ヲ含ム。

原葉體へ心臓形ニシテ頂部中央へ丸ク深ク或へ稍よ淺ク彎入シ、兩翼片ノ內側邊へ生長點ノ上方ニ於テ開キ或へ接近スル。下部へ丸ク或へ楔形ニ狹窄シテ原絲體ニ移行スル。原絲體ハ 2-6 個ノ方形ノ細胞ヨリ成リ、基原細胞ハ 圓柱狀ニ胞子外殼ヨリ突出シ、初生假根ハソノ下側方ニ着生スル。兩翼ハ蝶翼狀ニ斜上シ、翼緣ハ不整波狀ヲナス。翼細胞ハ等方多角形ニシテ稀ニ厚角ニナルコトガアリ (Neottopteris),分裂列ハ明瞭ナルカ又ハ稍よ不明瞭デアル。翼緣ノ細胞ハ等方形ニシテ通常側方ニ突出スルコトナク緣ハ平滑ニシテ、ソノ緣側ハ或ハ彎入シ或ハ彎出シ或ハ平坦ヲナス。 腺狀突起ヲ生ゼズ。 附屬物ヲ生ズル

場合ニハ乳頭状突起又ハ多細胞毛ヲ生ズル。假根ハ通常淡褐色ヲ呈シ、下面下部ニ廣ク翼部ニマデ擴ツテ生ズル傾向ガアル。中褥ハ下面比較的上方ヨリ始マリ、比較的小形ニシテ數層ノ丸味アル等方形ノ細胞ヨリ成ル。藏卵器ハ中褥ノ上部生長點ニ近ク群生シ、時ニハ中央部ノ殆ンド全面ニ亙ツテ多數個生ズルコトガアリ、頸部ハ通常痩セテ細長ク、4系列ヲナス頸細胞ハ前列5-6個稀ニ7個、後列3-5個ノ細胞ヨリ成リ、ソノ最下位ノモノハ特ニ大形ニシテ顯著ナル頸部ノ座ヲナスノガ普通デアル。蔵精器ハ假根ニ伍シテ中褥ノ下部以下ニ生ズルモ時ニハ中部以上ニマデ亙ツテ生ジ藏卵器ト混生スルコトガアル。球形、橢圓形、倒卵形又ハ頭狀ニシテ底細胞ノ上膜ハ擂鉢狀ニ陷沒シテ底膜ニマデ達シ、時ニハ細長キ圓筒狀ヲナシ陷沒セズシテ平坦ヲナスコトガアル。

而シテ本群ノ原葉體ハ 1) 翼細胞ハ等方形ニシテ稀ニ厚角ニナルコトガアル、2) 翼縁ノ細胞ハ等方形ニシテ通常側方ニ突出スルコトナク縁ハ平滑デアル、3) 腺狀突起ヲ生ゼズ、附屬物ヲ生ズル場合ニハ乳頭狀突起、多細胞毛ヲ生ズル、4) 假根ハ淡褐色ニシテ下面下部ニ廣ク翼部ニマデ擴ツテ生ズル傾向ガアル、5) 中褥ハ下面ノ比較的上方ヨリ發達シ、比較的小形ナルヲ普通トスル、6) 藏卵器ハ時ニ中褥ノ中央全面ニ互ツテ多數個生ズルコトガアリ、頸部ハ通常痩セテ細長ク、最下位ノ頸細胞ハ特ニ大形ニシテ顯著ナル頸部ノ座ヲナス、7) 蔵精器ノ底細胞ノ上膜ハ通常陷浚シテ底膜ニマデ達スルモ稀ニハ狭キ 直筒狀ヲナシ上膜ハ陷浚セズシテ平坦ヲナスコトガアル―等ノ一般的特徴ニヨツテ標徴サレうらぼし科ニ於ケル極メテ自然的ナー群ヲ形成スル。本群ノ類緣關係ヲ見ルニ此等ノ諸性質ノ多クハうらぼし科ニ於テハ Polypodium ヲ中心トスル Polypodioideae トソノ傾向ヲ同ジウシ、コノ方面トノ類似關係ガ强ク求メラレル。本群ハ原葉體ニヨリ次ノ如ク分類サレル。

| , 5 | · 附屬物ヲ生ゼズ2 |
|-----|---|
| (| 乳頭狀突起又ハ多細胞毛等ノ附屬物ヲ生ズル |
| | [翼細胞ハ厚角ヲナス。藏卵器ハ中礪ノ中央部殆ンド全面ニ亙ツテ多數個生ジ、頸部ハ |
| | 太々、頸部ノ座ハ明瞭ナラズI. おほたにわたり屬 Neottopteris |
| 2 . | おほたにわたり N. Nidus J. Smith |
| | 翼細胞ハ厚角ナラズ。藏卵器ハ中褥ノ上部中央生長點=近ク比較的少數個生ジ、頸部 |
| | ハ痩セテ細長ク、頸部ノ座ハ顯著デアルII. とらのをしだ屬 Asplenium |
| | (翼綠ノ細胞ハ側方=突出シ、ソノ綠側ハ彎出スル |
| | 」 ちゃせんしだ A. trichomanes L. |
| | 翼綠ノ細胞ハ側方=突出セズ綠ハ平滑=シテ、ソノ綠側ハ彎入スル |
| | とらのをしだ A. incisum Thunb. |

| 2 / 乳頭狀突起ヲ生ズル | $\dots 4$ |
|---|-----------|
| 。 仕長點附近ノ綠ニハ多細胞毛ヲ生ズル | 7 |
| (藏精器ハ藏卵器ト混生スル。原葉體ヲ構成スル細胞及ビ 藏卵器・藏精器等ハ著シ | ク小 |
| 形デアル VI. くものすしだ屬 Camptosorus | ٠. |
| 4 くものすしだ C. sibiricus R | UPR. |
| 藏精器ハ藏卵器群ノ下方=隔ル。原葉體ヲ構成スル細胞及ビ 藏卵器・藏精器等ハ | 比較 |
| 的大形デアル | 5 |
| (乳頭狀突起ハ翼線ニノミ疎ニ生ズル。中褥ハ比較的大形ニシテ藏卵器ハソノ上部 | 中央 |
| 生長點=近ク少數個生ズルV.こたにわたり屬 Phyllitis | |
| 5~ こたにわたり P. japonicum Kom | AROV |
| 乳頭狀突起ハ翼綠ノミナラズ面上ニモ生ズル。藏卵器ハ中褥ノ中央部殆ンド全面 | = 亙 |
| ツテ多數個生ズル | 6 |
| 「乳頭狀突起ハ翼緣及ビ生長點附近ノ面ニノミ生ズル。中褥ハ比較的小形デ生長點 | - 達 |
| セズシテソノ下方=終ル III. ひのきしだ群 Prolongatum-type | |
| ひのきしだ Asplenium prolongatum H | 00K. |
| ⁶ 乳頭狀突起ハ翼緣及ビ面ノ全面ニ亙ツテ生ズル。中褥ハ比較的大形ニシテ頂部生 | 長點 |
| ニマデ達スル。藏精器ノ壁ノ構造ハ多様デアル IV. あをがねしだ屬 Taro | chia |
| T. caudata P | RESL |
| 「頂部中央ハ淺ク彎入スル。翼絲ノ細胞ハ側方=突出スルコトナク絲ハ平滑ニシテ | ソノ |
| 緣側ハ平坦デアル。中褥ハ小形デアル。藏精器ハ頭狀ニシテ底細胞ハ狭キ圓筒 | |
| ナシ、ソノ上膜ハ平坦デアル VII. かみがもしだ群 Oligophlebium-ty | рe |
| カみがもしだ Asplenium oligophlebium | Зак. |
| 頂部中央ハ深ク鬱入スル。翼緣ノ細胞ハ側方ニ突出シソノ緣側ハ鬱入スル。中褥 | 八比 |
| 較的大形デアル。藏精器ハ球形乃至橢圓形ニシテ底細胞ノ上膜ハ通常陷没シテ | 底膜 |
| ニマデ達スル VIII. ケテラツク圏 Ceterach | |
| Ceterach officinarum | DC. |

第二群 いはでんだ亞科 Woodsioideae.

本群へ C. Christensen 氏ノ Subfam. XI. Woodsioideae C. Christensen in Verdoorn, Manual of Pteridology p. 542 (1938) =相當シ、コレニ Cystopteris 及ビ Acystopteris ヲ含メタモノデ Woodsia R. Brown, Physematium KAULFUSS 及ビ上記ノ Cystopteris Bernhardi, Acystopteris Nakai ヲ含ム。

原葉體ハ心臓形ニシテ頂部中央ハ丸ク深ク時ニハ稍、淺ク彎入シ、下部ハ通 常楔形ニ狹窄シテ原絲體ニ移行スル。原絲體ハ數個ノ細胞ヨリ成リ、基原細胞 ハ圓柱狀ニ胞子外殼ヨリ突出シ、初生假根ハソノ下側方ニ着生スル。兩翼ハ蝶 翼狀ニ斜上シ、翼緣ハ波狀ヲナシ、原葉體ノ下部ハ强ク反曲シテ鞘狀ヲナスカ 又ハ斯ル傾向ガアル。 翼細胞ハ等方多角形ニシテ分裂列 ハ明瞭又ハ稍と明瞭 デアル。 翼緣ノ細胞ハ等方形ニシテ通常殆ンド側方ニ突出スルコトナク、ソノ 縁側ハ彎入シテ凹形ヲナス。 腺狀突起ヲ生ズル。 腺狀突起ハ線形乃至線狀棍棒形デ核ハ中央又ハ下部=位置スルモノ多ク、葉線粒ハ比較的大形デアル。 帽ノ發達ハ顯著デナイコトガ多イ。 假根ハ無色透明ナルカ 又ハ 褐色ヲ帶ビ中軸帶=沿フテ生ズル。 中褥ハ下面下部時=ハ殆ンド底部ョリ頂部生長點 = 達スル長倒卵形ノ褥ヲナシ、數層ノ丸味アル等方形ノ細胞ョリ成ル。 藏卵器ハ中褥ノ上部生長點=近ク生ジ、頭部ハ細長ク、4 系列ヲナス頸細胞ハ前列 6-7 個稀=5個、後列 4-5 個ョリ成リ、最下位ノモノハ大形=シテ頸部ノ座ヲナス。 蔵精器ハ中軸帯=沿フテ中褥ノ下部以下= 或ハ 中部以上=マデ直ツテ生ジ 藏卵器ト混生シ、底細胞ノ上膜ハ陷浚シテ底膜=マデ達スルカ又ハ陷浚セズシテ平坦ヲナス。

本群ノ原葉體ハ 1) 下部ハ强ク反曲シテ鞘狀ヲナスカ 又ハ 斯ル傾向ヲ有スル、2) 翼縁ノ細胞ハ通常殆ンド側方=突出セズ、ソノ縁側ハ彎入シテ凹形ヲナス、3) 腺狀突起ヲ生ジ、線形乃至線狀棍棒形=シテ核ハ中部又ハ下部=位置スルモノ多ク、葉線粒ハ比較的大形デアリ、帽ノ發達ハ顯著デナイコトガ多イ、4) 中褥ハ下面比較的下方ョリ發達スル傾向ガアリ通常長倒卵形ヲナス、5) 蔵卵器ノ頸部ハ細長ク、頸細胞ハ通常前列 6-7 個ョリ成リ、最下位ノ頸細胞ハ大形=シテ頸部ノ座ヲナス一等ノ一般的特徴=ョツテ標徴サレル。

本群ハ原葉體ニョリ次ノ如ク分類サレル。

兩翼片ハ强ク斜上シ、原葉體ノ下部ハ强ク反曲シテ鞘狀ヲナス。腺狀突起ハ兩面及ビ 緣ノ全體=亙ツテ生ジ、顯著=大形ノ葉綠粒ヲ含ム。藏精器ハ中褥ノ下部以下=生 兩翼片ハ比較的弱ク斜上シ、下部ハ鞘狀ヲナス傾向ヲ有スルニ過ギナイ。腺狀突起ニ 於ケル葉綠粒ハ比較的小形デアル。藏精器ハ中標ノ中部以上ニマデ亙ツテ生ジ上方 ニ於テハ藏卵器ト混生スル..... (兩翼片ハ生長點ノ上方=於テ强ク相重ル。腺狀突起ノ核ハ突起ノ上部=位置シ、帽ハ 不完全デアル。 藏糯器ハ球形ヲナス... I. いはでんだ屬 Woodsia いはでんだ W. polystichoides EATON 2〈 雨翼片ハ生長點ノ上方=於テ相接近シ淺ク重ル。 腺狀突起ノ核ハ突起ノ底部=位置 シ、帽ハ顯著ニ發達スル。藏精器ハ精圓形デ細長イ II. ふくろしだ屬 Physematium ふくろしだ P. manchuriense NAKAI - 頂部中央ハ淺ク彎入シ、兩翼片ハ生長點ノ上方=於テ開イテ居ル。翼緣ノ細胞ハ殆ン ド側方=突出スルコトガナイ。腺狀突起ハ兩面及ビ綠ノ全體=亙ツテ散生スル。藏 精器ノ底細胞ノ上膜ハ通常陷没シテ底膜ニマデ達スル III. なよしだ屬Cystopterisなよしだ C. fragilis Bern H. 頂部中央ハ深ク彎入シ、兩翼片ハ生長點ノ上方=於テ相接近スル。翼緣ノ細胞ハ側方 =突出スル。腺狀突起ハ翼緣及ビ頂部附近ノ面=ノミ限ラレテ生ズル。藏精器ノ底 細胞ノ上膜ハ陷沒セズシテ平坦ヲナス IV. らすひめわらび屬 Acystopteris うすひめわらび A. japonica NAKAI

第三群、いぬわらび亞科 Athyrioideae.

本群へ C. Christensen 氏 / Subfam. X. Asplenioideae—Athyrieae C. Christensen in Verdoorn, Manual of Pteridology p. 541 (1938) =相當シ、Athyrium Roth, Cornopteris Nakai, Diplazium Swartz, Lunathyrium Koldzumi 等 / 諸屬ヲ含ム。

原葉體ハ心臓形=シテ頂部中央ハ深ク或ハ稍。深ク彎入シ、兩翼片ノ内側邊 ハ生長點ノ上方=於テ開キ或ハ接近スル。 下部ハ 楔形ヲナシ 或ハ丸ク狹窄シ テ原絲體ニ移行スル。 原絲體ハ 2-5 個ノ細胞ヨリ成リ、基原細胞ハ 圓柱狀ニ 胞子外殼ヨリ突出シ、初生假根ハソノ下側底ニ着生スル。雨翼ハ蝶翼狀ニ斜上 シ時ニハ殆ンド平直ニ擴ガリ、翼緣ハ殆ンド全緣ナルカ又ハ波狀ヲナシ、稀ニ ハ缺刻狀ヲナスコトガアル。 翼細胞ハ 等方多角形 ニシテ内部下方ニ於テハ時 ニ長形ニナリ、分裂列ハ稍、明瞭デアル。 翼縁ノ細胞ハ等方形ナルカ又ハ長方 形ヲナシ、側方ニ突出シ、ソノ縁側ハ彎出スルカ或ハ彎入スル。通常腺狀突起 等ノ附屬物ヲ有セザルモ 時ニハ 僅カニ生長點ノ附近ニ 稀ニハ全面ニ亘ツテ腺 狀突起ヲ生ズルコトガアル。 腺狀突起ハ 棍棒形ニシテ核ハ 突起ノ中央ニ位置 シ、小形ノ葉綠粒ヲ含有スル。假根ハ無色透明ニシテ中軸帶ニ沿フテ生ズル。 中縟ハ下面中途ヨリ頂部生長點ニ達スル顯著ナ縟ヲナシ時ニハ下面上部生長 點ニ近ク小形乃至ハ 比較的小形ノ褥ヲナスコトガアル。 藏卵器ハ 中褥ノ上部 中央生長點=近ク群生シ、頸部ハ通常稍、痩セテ細長ク、4系列ヲナス頸細胞 ノ最下位ノモノハ特ニ大形ニシテ頸部ノ座ヲナスモ稀ニハ頸部ハ太ク座ノ顯 著ナラザルモノモアル。藏精器ハ中軸帯ニ沿フ部分ニ生ジ、通常球形乃至橢圓 形ニシテ底細胞ハ環細胞ト等幅•等高ヲナシ、ソノ上膜ハ陷沒シテ 底膜ニマデ 達シ、時ニ臺細胞ヲ有スルコトガアル。

本群ハ古クヨリ前記ノ Asplenium 等ト同一群ニ取扱ハレ、此等ハ全體トシテうらぼし科中ノ一群ヲ成スモノデアルト云フ考へ方が定説トナツテ居ル。
C. Christensen 氏ハ最近(1938) コレヲ Asplenium ヲ中心トスル群即チ Asplenieaeト Athyrium ヲ中心トスル群即チ Athyrieaeトニ區別シタガ此等兩者ヲモツテーツ亞科 Subfam. Asplenioideae ヲ構成シ、コレヲ Dryopteris ヲ中心トスル一群 Subfam. Dryopteridoideaeト對立セシメテ居ル。而シテソノ原葉

かり ガトクは むコーコーム

體ヲ見ルト Athyrium ヲ中心トスル群ハ大體=於テ 1) 翼縁ノ細胞ハ等方形ナルモ時=長形=ナル傾向ノモノガアリ、側方=突出スル、2) 通常腺狀突起等ノ附屬物ヲ生ゼズ、稀=腺狀突起ヲ生ズルコトアルモ生長點ノ附近=限ラレテ僅カ=生ズル=過ギナイノガ普通デアル、3) 腺状突起ハ棍棒形デ核ハ突起ノ中央=位置スル、4) 假根ハ無色透明=シテ中軸帶=沿フテ生ズル、5) 中褥ハ通常顯著=發達スルモ時=ハ小形又ハ比較的小形ノ褥ヲナスコトガアル、6) 蔵卵器ノ頸部ハ通常細長クシテ頸部ノ座ハ顯著デアル、7) 藏精器ノ底細胞ハ環細胞ト等幅・等高=シテソノ上膜ハ陷浚シテ底膜=マデ達スル一等ノ一般的特徴=ヨツテ標徴サレ、Asplenium ヲ中心トスル群トノ間=ハ筆者ノ觀察= 關スル限リ著シイ懸隔ガアツテソコ=ハ大キナ系統上ノ gap ガ考ヘラレ、群トシテ明瞭=區別シ得ル故コレヲ前記ノ Asplenioideae トハ對等ノ別群トシテ取扱フコト=シタイ。尚ホー方後記ノ Thelypteris ヲ中心トスル一群トハ極メテ密接ナ關係=アリ、中=ハソノ何レ=入レルベキカ判斷=迷フモノモアル。本群ハ原葉體=ヨリ次ノ如ク分類サレル。

| , | _{(腺状突起ヲ生ズ} |
|----------|--|
| 1 | 腺狀突起ヲ生ゼズ |
| Ì | (腺狀突起ハ生長點附近ニノミ限ラレテ僅カニ生ズル。 翼縁ノ細胞ハ下方ニ於テノミ彎 |
| | 入シテ凹形ヲナス。中褥ハ比較的小形デアル。藏精器ハ中褥ノ上部ニマデ亙ツテ生 |
| | ジ藏卵器ト混生スル VI. しけしだ群 Thunbergii-type |
| | しけした Diplazium Thunbergii NAKAI |
| 2 | ほそばしけしだ D. Conilii Makino |
| | 腺狀突起ハ兩面及ビ翼縁ノ殆ンド全面ニ亙ツテ生ズル。翼縁ノ細胞ノ緣側ハ常ニ彎入 |
| | シテ凹形ヲナス。中握ハ著シク大形デアル。藏精器ハ中褥ノ下部以下ニ生ジテ藏卵 |
| | 器群ノ下方=隔にVII. はくもうゐので屬 Lunathyrium |
| | はくもうあので L. pycnosorum Koidzumi |
| | (兩翼ハ强ク斜上シ、翼緣ハ著シク波狀=缺刻スル。原葉體ヲ構成スル細胞ハ著シク大 |
| | 形デアリ、翼緣ノ細胞ノ緣側ハ强ク彎出シ多少波形ヲナス。中褥ハ下面上部ニ小形 |
| | ノ褥ヲナス。藏卵器ハ少數ニシテ頸部ハ太ク、頸細胞ノ系列ハ不整ニシテ最下位ノ |
| 3 | ~ 頸細胞ハ頸部ノ座ヲナサズ IV. ひろはののこぎりしだ群 Latifolium-type |
| | ひろはののこぎりしだ Diplazium latifolium Moore |
| | 兩翼ハ蝶翼狀ニ斜上シ、翼緣ハ全緣ナルカ叉ハ僅カニ波狀ヲナス。藏卵器ノ頸部ハ細 |
| | 長り、4系列ヲナス頸細胞ノ最下位ノモノハ特ニ大形ニシテ頸部ノ座ヲナス4 |
| | (原葉體ハ丸味アル心臓形ニシテ下部ハ丸ク狹窄シテ原絲體ニ移行スル。翼絲ノ細胞ハ |
| | 長形=ナル傾向ガアル5 |
| 4: | 原葉體ハ槪形略々三角形ノ心臓形ヲナスモノ多ク、下部ハ楔形ニ狹窄シテ原絲體ニ移 |
| | 行スル |
| | |

| | 「藏精器ハ中褥ノ下部以下ニ生ジ、卵形ニシテ底細胞ハ環細胞コリ低ク、臺細胞ヲ有ス ルコトガナイ。中標ハ大形デアル V. のこぎりしだ群 Wichurae-type |
|-----|---|
| | |
| 5 < | のとぎりしだ Diplazium Wichurae Diels 藤精器ハ原葉體ノ底部ヨリ側方ニ擴ツテ生ジ、底細胞ハ環細胞ト等高ニシテ通常1個 |
| | / 京知時ヲ左スル、中海ハナバデスル、「八日間ハ境相肥ハ等局ニシテ連常1個 |
| | ノ臺細胞ヲ有スル。中標ハ小形デアル III. しけちしだ屬 Cornopteris |
| | しけちしだ C. decurrenti-alata NAKAI |
| | ∫藏精器ハ藏卵器ノ下方=隔ツテ生ズル7 |
| 6< | .藏精器ハ上方=於テハ藏卵器ト混生スル。翼緣ノ細胞ハ長形=ナル傾向ガアリ、翼細 |
| | 胞ハ比較的大形デアル II. ひろはいぬわらび群 Wardii-type |
| | 藏精器ハ原葉體ノ下部ヨリ中褥ノ中部以上ニマデ亙ツデ生ズル。兩翼片ノ内側邊 |
| | の生長點ノ上方=於テ相接近スル |
| | a ひろはいぬわらび Athyrium Wardii Makino |
| | 藏精器ノ分布ノ中心ハ中標ノ下半部ニアルb |
| | 「中褥ハ著シク小形ニシテ下面上部ヨリ生長點ニ達スル倒卵形ノ褥ヲナス。兩翼片 |
| | ノ内側邊ハ生長點ノ上方=於テ開ク |
| | b |
| | 中褥ハ大形ニシテ下面中途ヨリ頂部生長點ニ 達スル 倒卵形乃至廣倒卵形ノ褥ヲ |
| | ナス・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| | 「雨翼片ノ内側邊ハ生長點ノ上方ニ於テ相接近スル。藏精器ハ球形デアル |
| | きかばいぬわらび Athyrium reflexipinnum HAYATA |
| | c 南翼片ノ内側邊ハ生長點ノ上方ニ於テ平行ナルカ或ハ開ク。藏精器ハ通常半壓球 |
| | 形実パンパ回送が全区部ノエガーボノナリテルカツ、所グ。敷桁部へ通常十座水 形デアルたいせいいぬわらび Athyrium oppositi-pennum HAYATA |
| | 翼細胞ハ比較的大形ニシテ、翼縁ノ細胞ハ長形ニナル傾向が强クソノ徐側ハ彎出シ又 |
| | ハ極メテ徴カニ彎入スルニ過ギズ。兩翼片ハ生長點ノ上方ニ於テ相接近スル。藏卵 |
| - [| |
| 1 | 器ハ比較的少數デアル。藏精器ハ中褥ノ下部ニマデ亙ツテ生ズル |
| - | I. いぬわらび屬一さとめしだ群 |
| | Athyrium-Multifidum-type ₍ 藏卵器ノ頸細胞ハ前列 5 稀= 4個デアル。藏精器ハ通常中標ノ下部ニマデ亙ツ |
| İ | } |
| | テ生ズル |
| Ì | 藏卵器/頸細胞ハ前列 6 稀= 5 個デアル。藏精器ハ中褥ノ中部時=中部以上= |
| 1 | マデ亙ツテ生ジ藏卵器群=接近スル傾向ガアル |
| | さとめしだ Athyrium multifidum |
| ل, | Var. deltoideum Nakai |
| | 翼細胞ハ比較的小形ニシテ、翼線ノ細胞ハ等方形ヲナシソノ終側ハ彎入シテ凹形ヲナ |
| | ス。藏卵器ハ比較的多数個生ズル。藏精器ハ原葉體ノ底部=集ツテ生ズル |
| | I. いぬわらび屬一眞正いぬわらび群 Athyrium—Eu-Athyrium-type |
| | (原葉體ハ通常縱橫同長ニシテ頂部中央ハ深ク急ニ彎入シ、兩翼片ノ內側邊ハ生長 |
| | 點ノ上方=於テ平行ナルカ或ハ相接近スル |
| 1 | ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| - 1 | みやすめしず A melanolenis CHRIST |

へびのねござ A. yokoscense CHRIST

原葉體ハ著シク横廣キ心臓形ヲナシ、頂部中央ハ淺ク緩カニ彎入シ、雨翼片ハ生 長點ノ上方ニ於テ强ク開イデ居ル

> いぬわらび Athyrium nipponicum HANCE ほそばいぬわらび A. iseanum ROSENSTOCK かららいめしだ A. brevifrons NAKAI めしだ A. filix femina ROTH

第四群 ひめしだ亞科 Thelypteridoideae.

本群へ C. Christensen 氏ノ Subfam. XII. Dryopteridoideae—Thelypterideae C. Christensen in Verdoorn, Manual of Pteridology p. 544 (1938) =相當シ、Gymnocarpium Newman, Currania Copeland, Phegopteris Fée, Thelypteris Schmidel, Glaphyropteris Presl, Lastreopsis Nakai, Leptogramma J. Smith, Cyclosorus Link, Meniscium Schrebel, Dictyocline Moore 等ノ諸屬ヲ含ム。

原葉體ハ心臓形ニシテ頂部中央ハ丸ク深ク或ハ著シク深ク、稀ニハ稍、深ク 彎入シ、兩翼片ノ内側邊ハ通常生長點ノ上方ニ於テ相接近スルモ稀ニハ開クコ トガアル。下部ハ丸ク或ハ楔形ニ狹窄シテ原絲體ニ移行スル、原絲體ハ2-7個 ノ細胞ヨリ成リ、基原細胞へ圓柱狀ニ胞子外殼ヨリ突出シ、初生假根ハソノ下 側方=着生スル。兩翼ハ蝶翼狀=斜上シ翼緣ハ波狀ヲナス。翼細胞ハ等方形= シテ内部下方ニ於テハ長形ニナリ、時ニハ長方形ヲナス傾向ヲ有スルコトガア リ、分裂列へ稍、明瞭デアル。翼縁ノ細胞へ等方形ナルカ又へ長方形乃至へ長 方形ニナル傾向ヲ有シ、側方ニ突出シ或ハ稀ニ側方ニ突出スルコトナク緣ハ平 滑ヲナスモノガアリ、ソノ緣側ハ或ハ彎入シ或ハ彎出シ或ハ波狀ヲナス。腺狀 突起ヲ生ジ或ハ腺狀突起ト混生シテ刺狀毛ヲ生ジ、又ハ稀ニ腺狀突起ヲ生ゼズ シテ刺狀毛ノミヲ生ズルコトガアル。 腺狀突起 ハ 通常棍棒形ナルモ時ニハ線 形ヲナシ、小形ノ葉綠粒ヲ含ム。假根ハ中軸帶ニ沿フテ生ジ、無色透明ノコト モアルガ淡褐色ヲナス傾向ヲ有スルモノガ多イ。 中褥 ハ 通常下面中途ヨリ始 マリ頂部生長點=達スル顯著ナ褥ヲナシ、5-6層ノ細胞ョリ成ル。藏卵器ハ中 褥ノ中央上部生長點=近ク群生スルモ時ニハ中央部全面 = 亙ツテ 多數個生ズ ルモノモアリ、4系列ヲナス頸細胞ハ前列 5-6 個ニシテソノ最下位ノモノハ 特=大形=シテ頸部ノ座ヲナスモノガ多イ。 藏精器 ハ 中軸帶=沿フ部分=生 ジ、球形・橢圓形・倒卵形乃至稍、頭狀ニシテ、底細胞ノ上膜ハ陷沒シテ底膜ニ **達シ 又ハ陥沒セズシテ平坦ヲナシ、斯ルモノニ於テハ底細胞ハ低キ圓筒狀乃** 至圓盤狀ヲナスモノガ多イ。

本群ハ以前ニハ今日ノ Dryopteris 等ヲ中心トスル所謂 Aspidieae トシテ取扱ハレ、ソノ主體ヲナス種類ハ比較的最近マデ廣義ノ Dryopteris トシテ取扱ハレテ來タ。現今ニ於ケル一般學者ノ意見トシテハ本群ハ Dryopteris ヤ Poly-

stichum 等ト共ニうらぼし科ノー群即チをしだ亞科 Subfam. Dryopteridoideae C. Christensen (1938) ヲナスト云フノガ殆ンド定説ニナツテ居ル。而シテコノをしだ亞科ヲ更ニ Dryopteris ヤ Polystichum ヲ中心トスル Dryopterideae ト Thelypteris等ヲ中心トスル Thelypterideae トニ2大別セル C. Christensen 氏ノ意見 (1938) ハ卓見ト云フベキデアル。

本群ノ原葉體ハ 1) 頂部中央ハ比較的深ク彎入スル傾向ガアリ、兩翼片ハ通常生長點ノ上方ニ於テ相接近スル、2) 翼縁ノ細胞ハ長形ニナル傾向ガ强ク、一般ニ側方ニ突出スル、3) 腺狀突起ヲ生ジ、腺狀突起ハ棍棒形又ハ線形デ小形ノ葉線粒ヲ含ム、4) 腺狀突起ト共ニ刺狀モヲ生ズル傾向ガアリ、稀ニハ刺狀モノミヲ生ズルモノ (Dictyocline) モアル、5) 假根ハ淡褐色ヲナス傾向ガ强ク、中軸帯ニ沿フテ生ズル、6) 中褥ハ下面中途ョリ頂部生長點ニ達スル顯著ナ褥ヲナス、7) 藏卵器ノ頸部ハ通常太ク上方ハ多少膨大シ、最下位ノ頸細胞ハ大形ニシテ頸部ノ座ヲナスコトガ多イ、8) 藏精器ハ中軸帯ニ沿フ部分ニ生ジ、底細胞ノ上膜ハ陷後シテ底膜ニ達スルモノモアルガ又陷後セズシテ平坦ヲナスモノモアル。斯ルモノニ於テハ底細胞ハ環細胞ヨリ狹クシテ低キ圓筒狀乃至圓盤狀ヲナスモノガ多イ一等ノ一般的特徴ニヨツテ標徴サレテ Dryopteris ヤ Polystichum ヲ中心トスル所謂 Dryopterideae トハ獨立ノ別群トシテ區別サレ、特ニ本群ニ獨特ノ刺狀モヲ生ズル形質ニ於テ著シイモノガアリ、うらぼし科ニ於ケル獨立ノ自然的一群ヲ形成スルモノト認メラレル。

本群ノ類緣關係 = 關シテハ勿論 Dryopteris ヲ中心トスル群トノ關係モ求メラレルノデアルガ特 = 前記ノ Athyrioideae トノ關係ハ極メテ密接デアリPhegopteris, Gymnocarpium, Currania 等 = 於テ特 = 著シイ。又おほめしだ、おほひめわらび、おほひめわらびもどき等 従來 Athyrium トシテ取扱ハレテ來タ一群ノ種類ハ寧ロ本群トシテ取扱フ方ガ 適當デアルト思ハレル。蓋シ此等ノ種類ハ本群ト Athyrioideae トノ中間的存在ヲナスモノデアル。

本群ハ原葉體ニヨリ次ノ如ク分類サレル。

| 一家精器/底細胞パ環細胞ョリ低ク且ツ狹クシテソノ上膜ハ常ニ平坦ヲナシ(例外ほそばしよりま)、藏精器ハ頭狀乃至倒卵形ヲナス。腺狀突起ハ棍棒形デアル 2 | 一家精器/底細胞パ環細胞ト等幅・等高ニシテソノ上膜ハ陷没シテ底膜ニ達スルヲ基本形トナシ、無配生殖ヲ行フ種類ニ於テハ平坦ヲナスコトガアル 4 (腺狀突起ハ生長點附近ニノミ限ラレテ僅カニ生ズル。藏精器ハ藏卵器ト混生スル

.....VI. やはらしだ群 Laxa-type

やはらしだ Thelypteris laxa CHING テ生ズル。 藏精器ハ藏卵器ノ下方=隔ッテ生ジ

腺狀突起ハ翼緣及ビ兩面ノ全體=亙ツテ生ズル。藏精器ハ藏卵器ノ下方=隔ツテ生ジョレト混生セズ 3

原葉體ヲ構成スル細胞及ビ腺狀突起等ハ比較的大形デアル。藏精器ハ中繧ノ下部ニマ デ亙ツテ生ズル VII. はしごしだ群 Parathelypteris-type

| İ | 3 3 3 3 3 3 3 3 3 3 |
|-------------|--|
| | ル。藏精器ハ通常1個ノ臺細胞ヲ有スル |
| | aく はりがねわらび Thelypteris japonica CHING 刺狀毛ヲ生ズル。藏卵器ノ頸部ハ比較的小形デアル。藏精器ハ通常臺細胞ヲ有セ |
| | 別が七ノ生人ル。澱が森ノ頭部へ丘較的小形ケノル。 澱柄森へ通吊臺細胞ヶ有セーズb |
| | The state of the s |
| | b { 翼線/細胞/線側ハ彎出スルとはしどしだ Thelypteris angustifrons CHING b { 翼線/細胞/線側ハ彎入スル はしどしだ Thelypteris glanduligera CHING |
| 3≺ | 原葉體ヲ構成スル細胞及ビ腺狀突起等ハ比較的小形デアル。藏精器ハ中褥ノ下端以下 |
| | 原葉體ノ底部=集ツテ生ズル。翼線ノ細胞ノ線側ハ彎入スル |
| | 原来題、氏市一来アクラスペー。 美様、 Millo が で で VIII. ひめしだ |
| | 「藏精器ノ底細胞ノ上膜ハ陷沒シテ底膜ニマデ達スルモノヲ混生スル |
| | ほそばしよりま群 Beddomei-type |
| | ほそばしよりま T. Beddomei CHING |
| | ↓ → 藏精器ノ底細胞ノ上膜ハ常ニ平坦ヲナス |
| | ひめしだ群 Euthelypteris-type |
| | ひめしだ T. palustris Schott |
| | につくわらしだ T. nipponica CHING |
| 4 | { 腺狀突起ト共ニ刺狀毛ヲ生ジ又ハ刺狀毛ノミヲ生ズル |
| | 【腺狀突起ノミヲ生ズル9 |
| | 「腺狀突起ヲ生ゼズシテ刺狀毛ノミヲ生ズル。翼緣ノ細胞ハ殆ンド側方ニ突出セズ。藏 |
| 5≺ | 精器ハ藏卵器ト混生スル XIV. あみしだ屬 Dictyocline |
| | あみしだ D. Griffithii Moore |
| | 腺狀突起ト混生シテ刺狀毛ヲ生ズル。翼촳ノ細胞ハ側方=突出スル |
| 6 - | { 腺狀突起ハ生長點附近又ハ生長點附近及ビ緣ニ限ラレテ生ズル |
| , | |
| | (原葉體ノ下部ハ丸ク狹窄スル。腺狀突起ハ絲及ビ生長點附近ノ面=限ラレテ生ズル。 |
| | 中標ノ上部側方ニ通常先端ノ卷イタ刺狀毛ヲ生ズル。藏精器ハ藏卵器ト混生スル XIII. からもりしだ屬 Meniscium |
| | カッラもりしだ M. triphyllum Sw. |
| 7_{\prec} | 原葉體ノ下部ハ楔形ニ狹窄スル。腺狀突起ハ生長體ノ附近ニノミ限ラレテ生ズル。刺 |
| | |
| | XI. みぞしだ屬 Leptogramma |
| | みぞしだ Li. totta J. Smith |
| | - 下部ハ楔形=狭窄スル。刺狀毛ハ上面ノ上部及ビ緣=生ジ通常下面=ハ生ゼズ。藏精 |
| | 器ハ藏卵器ト混生スル X. げじげじしだ屬 Lastreopsis |
| | げじげじしだ L. japonica NAKAI |
| . | 下部ハ丸ク狹窄スル。刺狀毛ハ稀ニ生長附近ノ兩面及ビ絲ニ生ズル。 |
| 8≺ | XII. ほしだ屬 Cyclosorus |
| | 「刺狀毛ハ極ク稀ニ生ズルo 藏精器ハ藏卵器ノ下方=隔ル |
| | J ほしだ C. acuminatus NAKAI |
| | |

| j | 通常刺狀毛ヲ生ズル。藏精器ハ藏卵器群ニ接近シ或ハコレト混生スル |
|-----|---|
| Į | けほしだ C. parasiticus Farwell |
| ا م | 藏精器パ藏卵器ト混生スル10 |
| 9 | 藏精器ハ藏卵器ノ下方=隔ツテ生ズル11 |
| (| 兩翼片ハ生長點ノ上方=於テ開ク。腺狀突起ハ線形デアル。中標ハ比較的上方ヨリ始 |
| | マリ小形ニシテ簽達顯著ナラズ V. ひめわらび群 Macrothelypteris-type |
| - 0 | ひめわらび Thelypteris oligophlebia var. elegans Ching |
| 10 | 雨翼片ハ生長點ノ上方ニ於テ相接近スル。腺狀突起ハ棍棒形デアル。中標ハ比較的下 |
| 1 | 方ヨリ始マリ顯著=發達スル IX. たいえふしだ屬 Glaphyropteris |
| l | たいえふしだ G. falciloba H. Itô |
| , | - 兩翼片ハ生長點ノ上方 = 於テ開ク。翼綠ノ細胞ハ等方形ニシテソノ緣側ハ 波形ヲナ |
| | シ、ソノ内ノ或ル細胞ノ絲側ハ特ニ强ク膨出スル。腺狀突起ハ小形デアル12 |
| 11 | 兩翼片ハ生長點ノ上方ニ於テ相接近スル。翼緣ノ細胞ハ長形ニナル傾向が强イ。腺狀 |
| l | - 突起ハ比較的大形デアル 13 |
| (| 腺狀突起ハ翼線及ビ翼面ノ全體=亙ツテ生ジ、核ハ突起ノ上部=位置スル |
| | II. うさぎしだ屬Gymnocarpium |
| 7.0 | いはうさぎしだ G. longulum KITAGAWA |
| 1,2 | 腺狀突起ハ翼縁及ビ生長點附近ノ面ニノミ限ラレテ生ジ、核ハ突起ノ底部=位置スル |
| | III. えびらしだ屬 Currania |
| l | えびらしだ C. oyamensis Copeland |
| ſ | 翼細胞ハ長形ニナル傾向ガアル。腺狀突起ハ生長點附近ニ限ラレテ生ズル。藏卵器ハ |
| | 中標ノ中央殆ンド全面=亙リ多數個生ズル |
| | IV. みやまわらび屬 Phegopteris |
| | たちひめわらび P. bukoensis Tagawa |
| | 附:原葉體ヲ構成スル細胞ハ比較的大形デアル。無配的ニ造胞體ヲ形成スル。藏 |
| | 精器ノ底細胞ノ上膜ハ平坦ヲナス |
| | みやまわらび P. polypodioides FÉE |
| 13 | 翼細胞ハ等方形デアル。腺状突起ハ翼縁及ビ生長點附近=限ラレテ生ズル。中褥ハ著 |
| 10 | シク大形ニシテ藏卵器ハソノ中央上部生長點ノ附近ニ集ツテ生ズル |
| | |
| | おほめした Athyrium pterorachis Christ |
| | 附:原葉體ヲ構成スル細胞ハ比較的大形デアル。無配的=造胞體ヲ形成スル。藏 |
| Ì | 精器/底細胞/上膜ハ平坦ヲナス |
| | 原狀突起ハ縁及ビ面ノ全體=亙ツテ生ズル |
| | おほひめわらび Dryopteris Okuboana Koidzumi |
| l | 腺狀突起ハ面及ビ生長點附近ノ縁=ノミ限ラレテ生ズル |
| , | おほひめわらびもどき Dryopteris tosensis KODAMA. |
| | (此項續ク) |